

第3回 東日本大震災復興支援「真夏の第九」チャリティーコンサート

L.v. ベートーヴェン **交響曲第9番『合唱付き』**

J. シベリウス **交響詩『フィンランディア』**

2015/8/16【日】 開場 13:30 開演 14:00

主催：Aurora

共催：槌音プロジェクト NPO 法人 Mother Board「日本の道」

指揮：阪本正彦

演奏：Orchestra Aurora & Chorus Aurora

独唱：Sop. 加藤千春 Alt. 小谷円香 Ten. 渡辺大 Bar. 増原英也



渋谷区文化総合センター大和田 4階 さくらホール

全席自由 **¥1,000**

お問い合わせ：真夏の第九実行委員会

shuzo.hrn26@gmail.com

090-2654-6951 (担当：山内)

渋谷区文化総合センター大和田へのアクセス（渋谷区桜丘町 23-21）

渋谷駅から徒歩 5分

バスにて：大和田シャトル（ハチ公ロー文化総合センター大和田）直行バス

ハチ公バス（タヤけこやけルート）コミュニティバス

※どちらもバス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車。

※文化総合センター大和田には専用駐車場がございません。ご来場の際には公共交通機関のご利用をお願い申し上げます。



『先生、オーケストラで第九を歌いたいんだ』

この一言がきっかけでした。やるならば、チャリティー公演にしよう！

そこで出会ったのが震災で被災した大槌の皆さんが集える音楽ホールを作ろう！と活動している「槌音プロジェクト」でした。

一昨年に第九公演を敢行。歓喜の公演終了間もなく、合唱団のまた歌いたい！との思いと、オーケストラの大槌町にホールができるまで！の熱い思いを胸に、この夏も挑みます。

Aurora とは

団名の Aurora は『夜明け』を意味するイタリア語です。『明けない夜はない、必ず光がやってくる』そんな団員一同の希望が込められています。

指揮に阪本正彦氏を迎え、これまでに震災復興チャリティーコンサートとして2回の演奏会を開催いたしました。

第3回の演奏会は、第1回で反響の大きかった「真夏の第九」に再び取り組みます。

音楽と触れ合う町、岩手県大槌町に夢の音楽ホールを♪音楽ホール槌音《つちおと》プロジェクト

槌音プロジェクトは、大槌と繋がった日本中、世界中の音楽を愛する皆様と交流し、大槌から「感謝と元気」を音楽や郷土芸能で発信する場所として、そして町民の皆さんがいつでも音楽や芸能と触れ合える音楽ホール「槌音」をつくりあげたいと思い活動しております。

音楽ホール「槌音」は、大槌の復興のシンボルとして何時でも音楽に溢れ人々が集える場所となり、大槌の文化の継承・発展に寄与します。

そして、日本中、世界中から人々が大槌に集い自然豊かな大槌の魅力を堪能していただくとともに震災の記憶を絶やすことなく全世界に発信し続けます。



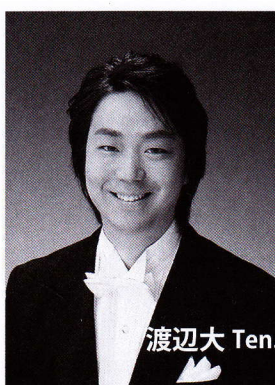
指揮 阪本正彦

東京都青梅市出身。1987年東京藝術大学卒業。ホルンを宇田紀夫、守山光三、千葉馨、室内楽を村井祐児、海鉾正毅、指揮を湯浅勇治、高階正光、松沼俊彦、下野竜也の各氏に師事。1985年神奈川県県立音楽堂推薦音楽会に出演。1986年東京交響楽団入団。オーケストラや室内楽での演奏活動のみならず、アマチュアオーケストラ・吹奏楽等への熱心な指導・指揮にも定評がある。2011年6月に、東京国際芸術協会の登録オーディションを経て、同協会の登録指揮者となる (<http://www.tiaa-pro.com/artist/etc.html>)。フィンランドでのヨルマ・パヌラ指揮マスタークラス(2012年)、フィレンツェ国際指揮マスタークラス(2013年)などに参加し、研鑽を重ねている。2013年には震災復興支援真夏の第九チャリティーコンサートを開催、昨夏にはマーラー交響曲第5番、歌劇「椿姫」などを指揮、昨年末にはあまみエフエムプレゼンツ市民第九祭(奄美第九演奏会)に招聘され、好評を得ている。現在、東京交響楽団ホルン奏者、ピアノと木管五重奏ゼクステット魅生瑞メンバー、2015年度上野学園大学研究生「指揮専門」聴講生。

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程オペラ科修了。在学中に芸大定期オペラ「魔笛」夜の女王でオペラ・デビュー。二期会オペラスタジオ修了時に成績優秀賞受賞。英国トゥリニティ音楽院首席卒業。レイランド音楽祭声楽コンクール第1位。新・波の会日本歌曲コンクール入選。「フィガロの結婚」スザンナ「コシ・ファン・トゥッテ」デスビーナ、「愛の女庭師」セルベッタ、「修道女アンジェリカ」ジェノヴィエッファ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「電話」ルーシー、「愛の妙薬」ジャンネッタ、カヴァッリ「ラ・カリスト」リンフェア(日本初演)、W.フェラーリ「スザンナの秘密」スザンナ、オッフェンバック「市場のかみさんたち」シプレット、青島広志「火の鳥<ヤマト編>」カジカ、木下牧子「不思議の国のアリス」(初・再演)白兔などを演じる他、日英双方でリサイタル開催、またコンサート歌手、第九、宗教曲のソリストとしても活動。二期会、東京室内歌劇場、横浜シティオペラ、日本ヘンデル協会、各会員。



加藤千春 Sop.



渡辺大 Ten.

明治大学を経て東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程(オペラ)修了。在学中に『ファルスタッフ』バルドルフォ役にて新国立劇場オペラ研修所修了公演に客演して以来、『カルメン』、『魔笛』、『イドメネオ』等、数多くのオペラで主要ロールを演じた。'14 ジャパンアーツ『夕鶴』公演に与ひょう役のカヴァーキャストで参加。大阪フェスティバルホールにて学校公演(現田茂夫指揮)に出演した。'13 東京文化会館にて三枝成彰『KAMIKAZE- 神風-』世界初演(大友直人指揮)に山口耕太少尉役で出演。「音楽の友」誌上等で好評を博した。'12年サントリーホールにてヴェルディ《レクイエム》(小林研一郎指揮)にて本格的ソリストデビューを果たす。ヴェルディ《諸国民の賛歌》、《第九》、《メサイア》等に出演。フェリス学院大学非常勤副手。日本声楽アカデミー会員。啓声会会員。オペラアカデミーinS アマデウス第二期研修生。

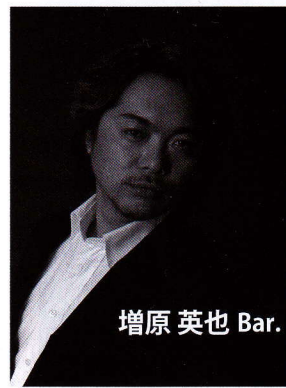
小谷円香 Alt.



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。これまでに声楽を原田茂生、故松尾洋、小林久美恵各氏に師事。アメリカのカンパニーによるオペラ「蝶々夫人」プロジェクトに参加し、スペイン26都市公演、ドイツ・フランクフルト1ヶ月連続公演に出演した。主な出演作品はオペラ「カルメン」タイトルロール、メルセデス、「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントゥツァ「トロヴァトーレ」アズチーナ、「アイダ」アムネリス、「リゴレット」マッダレーナ、「魔笛」ダーメ、「蝶々夫人」スズキ、「ジャンニ・スキッキ」ツイータ。ベートーヴェン「第九」「合唱幻想曲」モーツァルト「レクイエム」のソリストを務める。

近年は現代日本作家の作品演奏にも力を入れている。演奏活動以外では、各合唱団体の指導やエデュティメント音楽ソフト、CD-ROMの企画・製作、作曲や、CM音楽等も手がけている。

名古屋市生まれ。琉球大学法文学部卒業。東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程を修了。パルマ国立アトリゴ・ボーイト音楽院を首席で卒業。ディプロマを取得。芸大在学中より、数々のオペラに出演。またオーケストラアンサンブル金沢《メサイア》やフォーレの《レクイエム》、ベートーヴェン「第九」等オペラ以外の公演でもソリストを務める。2011年よりイタリア留学。パルマ王立劇場のシーズン公演《結婚手形》に出演。及び特設舞台での《ドン・ジョヴァンニ》でタイトルロールを務める。ミラノ・ロゼトゥム劇場《リゴレット》でタイトルロールを務める。その他、シチリアやアヴィリャーノ、パルマほかにてオペラ公演やコンサートに出演。また韓国大邱国際オペラ・フェスティバル《ドン・ジョヴァンニ》に出演。好評を博す。2014年帰国。二期会所属。サントリーホール・オペラアカデミー・コーチングファカルティ。



増原 英也 Bar.